

平成25年第1回沼津市教育委員会定例会会議録

1 日 時 平成25年1月16日（水）午後1時35分～午後2時10分

2 場 所 沼津市役所3階 第3委員会室

3 日 程

(1) 会議録署名人の指名（土屋委員 細沼委員）

(2) 前回会議録の承認（久松委員 細沼委員）

(3) 議 案

な し

(4) 協 議

な し

(5) 報 告

1) 成人式及び新成人議会の結果について

2) 「沼津大志学習」プラン（案）～沼津市キャリア教育指針～について

4 出席者等

委員長 三好勝晴、委員長職務代理者 土屋葉子、委員 久松但、委員 細沼早希子
教育長 工藤達朗、教育次長 工藤浩史、図書館長 保田藤代、市立高校長 加地宗雄、
教育企画室長 岩崎克己、教育企画室副参事 大川淳、学校管理課長 塩崎滋、学校教育課長
君島憲生、教職員研修センター所長 秋山三枝子 文化振興課長兼戸田造船郷土資料博物館長
井原正利、生涯教育課長 宮下義雄、青少年教育センター所長 田口恒雄、少年自然の家所長
高梨信、図書館事務長 長澤利之、スポーツ振興課長兼勤労者体育センター所長 山崎賢一、
市立高校事務長 田辺稔恵、教育委員会調整担当 久保田弘行、教育企画室主任 宇佐美利香、
教育企画室主任 内村一徳

5 会 議

三好委員長が午後1時35分、開会を宣言する。

三好委員長より会議を公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 1人

三好委員長より、会議録署名人に土屋委員、細沼委員を指名する。

6 教育委員長挨拶

新年となりました。昨年来マスコミ等でも教育委員会の問題が山積みですが、皆様のご協力を
いただきながらやっていきたい。

7 教育長挨拶

今年も1年間よろしくお願ひしたい。教育委員会は年でやるため、今回が第1回目となる。

調整担当は各部局の調整を担っており、教育委員会の様子も知っておいた方がよいだらうという
ことで、今回から出席してもらう。教育委員会のあり方など問題になっており、後程協議会の中で
話をしていただきたい。

沼津の中学校には「Boys, be ambitious」の額がある。何故あるのかと思うが、これは新渡戸稲造
が直筆で書いたものの複製で、この謂れに関しては生涯教育課長が市史編纂に係っていたので、課長
から説明してもらう。

(生涯教育課長) 興農学園というものが西浦久連にあった。現在も存在しているが、これは沼津兵学校にいた「渡瀬寅次郎」が、第1期生として札幌農学校で「クラーク博士」に師事し、その学校の2期生には「新渡戸稲造」「内村鑑三」がおり、卒業後、沼津に興農学園を開校したことに関係する。

昭和4年に興農学園の開校式を行った際に新渡戸稲造が書いたもので、現物も昭和57年までは久連にあったが、所有は渡瀬家または興農学園であったため、レプリカを沼津に残し、本物は札幌大学に寄贈された。

興農学園とは、「農聖」デンマークのニコライ・グルントヴィの提唱した農民高等学校というものを日本へ導入したもので、日本全国に似たようなものが数十とある。現在は廃校しているが、土地は残っており、三島の恵明学園が提携し借用している。また日本で最大のコルクガシやメタセコイヤ等植物学上貴重なものが残されている。

(教育長) 新渡戸稲造は知っていたが、沼津との関係や興農学園があったことを私も知らなかった。中学校に額があるわけだが、子どもたちにも、沼津にそういうものがあることを教えていきたい。

教育委員さんにもぜひ知っていただきたいと思い、お話した。

<報 告>

1) 成人式及び新成人議会の結果について

(生涯教育課長 資料に基づき説明)

三好委員長 本件について意見等がありますか。

三好委員長 天気に恵まれてよかった。昨年にも話をしたが、今後教育委員が出席するような話はでているか。

生涯教育課長 成人式は各連合自治会に委託して行っており、市でどうこうは出来ないが、社会教育委員も含めて来年は、案内を送る等、検討したい。

細沼委員 質問に対する答弁は、すべて市長か。

生涯教育課長 今回は市長だったが、昨年度は教育長や病院長も答弁している。

三好委員長 街の活性化に関するものが多かった。

工藤教育長 例年は教育のことが多く、私が答弁していたが、今回は偏ってしまった。

三好委員長 他になければ、報告を受けたということでご了承願います。

2) 「沼津大志学習」プラン～沼津キャリア教育指針～について

教育企画室長 教育基本構想に基づき推進しているが、夢ある人づくり塾での御意見を踏まえて、沼津市のキャリア教育指針の検討を行ってきたが、案がまとまったため報告させていただきます。

(教育企画室副参事 資料に基づき説明)

三好委員長 本件について意見等がありますか。

細沼委員 資料を事前にいただき、今回初めてキャリア教育というものを知った。

キャリアという言葉には違和感がある。

私たちの年代だと国家公務員が俗称でキャリアと言われたり、職業上のスキルや経験というイメージで、小中学校の学習と結びつかない。

中教審が使ったようだが、言葉にとらわれず、沼津版で行うのはよいと思う。

- 細沼委員 大志というのは、先ほど話のあった興農学園の背景があったと思うが、何故大志なのかを盛り込んでおくとよい。
- 工藤教育長 参考にさせていただく。
今の話だが、夢ある人づくり塾でキャリア教育をとの話があり、その時も学校にはふさわしくないのではないかとの意見があった。
事務局で考え、大志という言葉を使った。
- 久松委員 体験学習など実際にやっていると思うが、自分の子も幼稚園に体験に行っている。他の校区にもいっているようだが。他の学校が何をやっているかは知っているのか。
- 学校教育課長 一堂に会して報告する場面はないが、ホームページに掲載などしている。
- 久松委員 まとめなくても、各校の取り組みを教えたり交流できたりするとよいと思う。
- 三好委員長 各校で地域性もあると思う。はっきりとした情報交換を。
- 土屋委員 各校で足並みがそろっていたほうがよい。
- 工藤教育長 これを考えたのは、中学校では進路相談などでやっているが、小学校ではキャリアの位置づけがはっきりとされていないため。
実際には社会科見学などでやっている。先生方に位置づけを明確にしてもらうことを目的としている。プランの最後に各校の取り組みも掲載できる。
- 土屋委員 子どもにとって社会科見学などうれしいことだと聞いているので、興味をもってもらえるようにしてほしい。
- 三好委員長 我々の時代にはキャリアという概念はなかった。社会に出てなじめないなどの社会的背景があるのか。
大人と一緒に考えていく、生きがいとは何か、子どもに大人の姿勢をどう見せていくのか、大切なことだと思う。
校長会で説明し、意見を聞くとのことだが、実践するにはコンセンサスが大切だと思う。教師にこうしてほしい、などの文言もあるが、教員に「何か余計なこと、今以上のこと、大変なこと」ととられないように、コンセンサスをとってほしい。
道筋をつけようとしているものなので、現場の先生が同じ思いとなるように、校長会にもきっちり意見を聞いてもらいたい。
- 細沼委員 大志の理由は9Pに理由が書いてあった。三好委員の言った「価値観を磨き・・・」の部分は、沼津は言語教育に力をいれており、言葉を大切にし、言葉でお互いに繋がる力がどの子どもにもつけば、いじめも減っていくと思う。沼津市には頑張ってもらいたい。
- 久松委員 最終的にはホームページに掲載するのか。
- 教育企画室長 基本的には教員に見てもらって学校教育の中で生かしてもらおう。
もう一つは、コーディネート機関があり、企業などの諸団体に協力していただくためにも理解してほしいので、公表して市民協働で進めていきたい。
- 三好委員長 それでは本件は報告を受けたということで了承いたします。

<その他>

- 三好委員長 その他について何かあるか。
- 三好委員長 今体罰のことなどが話題になっている。協議会でもよいかもしいないが、体罰に対する考え方や、文部科学省では週6日制の話も出ている。週6日制は他の地区でも行っているとも聞いているが、沼津ではどうか。
- 工藤教育長 沼津でも、土曜日に授業参観を行う事例はある。ただし、他の日を休みにしている。
- 東京では自由に授業をやっているところもある。高校の進学校はみな補習をしている。ハードルは高いと思うがどうなるか。学校現場ではみな喜ぶのではないかと思う。指導要領が変わり、授業を増やさねばならず、教員間で話をする放課後の時間がなくなってしまった。
- 学校教育課長 授業数が増えて、教員にも子どもにも余裕がなくなっている。
- 三好委員長 全員が歓迎ムードか。
- 学校教育課長 教員みなが同じ意見かは、わからない。
- 細沼委員 土曜日は半日か。
- 工藤教育長 半日だと思う。
- 三好委員長 他になければ以上で閉会とする。
- 午後2時10分 閉会

(件 名)

平成 2 5 年成人式及び新成人議会の開催について

1 目 的

「成人の日」は新しく成人となった若者を祝い、励まし、社会人としての義務と責任を自覚させる日で、新成人のために各校区で地域ごとにお祝いをする。

また、「成人の日」の記念事業として新成人議会を開催する。

2 事業概要・これまでの経緯 等

- (1) 平成元年の成人式から、中学校区ごとの地域分散方式で開催している。これは、地域独自の手づくりの成人式として、地域の連帯感や地域青少年育成活動の基盤づくりにも大きな役割を果たしている。
- (2) 新成人に有権者としての意識や市政に対する関心を持っていただくため、各校区から推薦された新成人議員による議会を開催する。

3 内訳等説明

- (1) 成人式は、戸田校区 1 月 4 日（金）午前 1 1 時、その他 1 6 校区 1 月 1 3 日（日）午前 1 0 時から、各校区での企画運営により地域分散方式で開催した。

出席状況は、該当者数 1, 8 6 6 人 に対し、出席者数 1, 5 8 2 人
出席率 8 4. 8 % で、前年比較は 0. 7 % のプラス となった。

- (2) 第 1 5 回新成人議会は、1 月 1 3 日（日）午後 2 時から、市議会本会議場において新成人議員 3 2 人 が出席した。

3 2 人のうち 5 人から、沼津駅の鉄道高架事業や今後の街づくりなど、沼津市政や将来の沼津市についての質問に市長が答弁し、それ以外の 2 7 人からは、「市制 1 0 0 周年の未来予想図 ～これからの 1 0 年 沼津市に期待すること～ 」というテーマについて一言ずつ発言をいただき、二十歳の若者らしい様々な意見を聞くことが出来た。

4 担当所属

生涯教育課

(件 名)

「『沼津^{たいし}大志学習』プラン」の作成状況について

1 目 的

キャリア教育については、既に各校が様々な取組をしているが、学校により受け止め方や実践の内容・水準に差があり、小学校から中学校への接続もうまくいっていない現状から、沼津版キャリア教育を明確に示すことが必要である。

「沼津大志学習」プランを策定することにより、学校の負担を増やさずに本市小・中学校が共通認識の下でキャリア教育に取り組むことを目指すとともに、小中連携の一層の充実を図る。さらに、行政が中心となり、体験活動を支える生涯学習環境の整備を推進する。

2 事業概要・これまでの経緯 等

- (1) 平成 23 年 11 月 16 日 「『夢ある人』づくり塾」において、沼津ならではのキャリア教育指針づくりを提案
- (2) 平成 24 年 1 月 13 日 「『夢ある人』づくり具現化委員会」において、沼津版キャリア教育指針について協議
- (3) 教育委員会事務局で「『沼津大志学習』プラン（案）」を作成
 - ① 平成 24 年 7 月 13 日 「『夢ある人』づくり具現化委員会」において検討
 - ② 教育委員会事務局で修正
 - ③ 平成 25 年 1 月 校長会から意見聴取（予定）
 - ④ 平成 25 年 1 月 23 日 「『夢ある人』づくり塾」へ報告（予定）
 - ⑤ 平成 25 年 3 月末 「『沼津大志学習』プラン」を策定（予定）

3 内訳等説明

- (1) 「沼津大志学習」の定義

「『生きる力』を育むとともに、ひと・もの・こととの関わりを通して社会性を伸長し、大志を抱いて自己実現を図る学び。」
- (2) 「沼津大志学習」の位置付け

本市小・中学校が沼津版キャリア教育を推進していくための指針とする。
- (3) 「沼津大志学習」プランの活用法
 - ① 自校の教育活動に、「『充実した学び』を積み重ねることによる『生きる力』の育成」と「体験活動や言語教育などにおける『社会性の伸長』」の二つの手立てが位置付いているか確認する。
 - ② 二つの手立てが不足している場合は補うことにより、自校の「沼津大志学習」を体系付け、小中連携にも生かす。
 - ③ 沼津の教育資源を生かした体験活動や「ことば」を大切にした交流活動を市民協働で推進する。

4 担当課 教育企画室